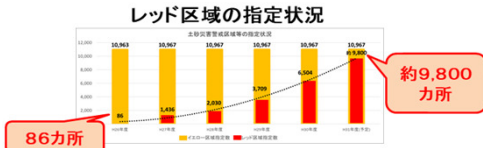


Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 6 「安心安全な地域」づくり

(39) 土砂災害対策の推進

これまで

土砂災害防止法に基づく土砂災害特別警戒区域(レッド区域)の指定(約9,800箇所)を今年度中に達成します。



①「奈良県土砂災害対策基本方針」に基づく土砂災害対策抑止力の強化を図ってきました。

- ・崩落やその兆候が見られる箇所の対策強化
- ・24時間利用の要配慮者の利用施設及び代替性のない避難所の対策強化

②「奈良県土砂災害対策施設整備計画」を策定しました。(令和元年10月策定)

- 上記①、②等を踏まえ、「選択と集中」により、ソフト対策と一体となったハード対策を推進します。
- ・レッド区域内における24時間利用の要配慮者利用施設や代替性のない避難所の保全
 - ・アンカールート等の強靱化
 - ・現行基準に適合しない老朽化堰堤の保全 など



もっと良くするために

ハード対策として砂防施設を整備し(5,255百万円、[債務負担行為 6,458百万円]、R元・2月補正 472百万円)、国の直轄砂防事業に負担金を支出します。(1,513百万円)

- ・文珠川、柳田川、鍛冶屋谷他に砂防設備を設置
- ・坪内地区、平沼田地区、折立地区他に地すべり防止施設を設置
- ・稲淵地区、殿野地区、上野地区他に急傾斜地崩壊防止施設を設置
- ・紀伊山系における(長殿、栗平、神納川他)国の大規模土砂災害対策に県負担金を支出

防災・減災のためのソフト対策を行います。(37百万円、R元・2月補正 16百万円)

- ・土砂災害特別警戒区域等を指定
- ・土砂災害・防災情報システムを改修
- ・土砂災害防災訓練を実施



令和2年度予算案 6,805百万円[債務負担行為 6,458百万円]
令和元年度2月補正予算案 488百万円

R2予算案 6,804,942千円 [債務負担行為 6,458,000千円]、R元・2月補正予算案 488,250千円

1. 砂防施設の整備

(R2当初予算案 5,255,472千円、
R3～5債務負担行為 6,458,000千円、
R元・2月補正予算案 472,500千円)

- 砂防設備の設置により、土石流等による被害から人家等を保全
 <R2箇所>文珠川、柳田川、鍛冶屋谷他
- 地すべり防止施設の設置により、地すべりによる被害から人家等を保全
 <R2箇所>坪内地区、平沼田地区、折立地区他
- 急傾斜地崩壊防止施設の設置により、急傾斜地の崩壊による被害から人家等を保全
 <R2箇所>稲淵地区、殿野地区、上野地区他

2. 直轄河川事業費負担金

(1,512,720千円)

- 紀伊山系における大規模土砂災害対策等
 <R2箇所>長殿、栗平、神納川他



砂防設備の設置

3. ソフト対策による防災・減災

(R2当初予算案 36,750千円、
R元・2月補正予算案 15,750千円)

- 土砂災害防止法に基づき基礎調査を実施し、その結果を公表するとともに、迅速かつ正確に土砂災害警戒区域等を指定
- 土砂災害警戒情報の迅速な提供や警戒区域の的確な周知を市町村や住民に行うため、土砂災害・防災情報システムを改修(R2～5年度)
- 土砂災害の危険性が高まった際に、住民・災害時要援護者が円滑に避難できるよう、県・市町村・地域住民が連携した土砂災害に対する防災訓練等を実施



防災訓練

<問い合わせ先>
 県土マネジメント部
 砂防・災害対策課 植谷主幹(内線4192)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり

(40) 奈良県緊急防災大綱の推進

これまでは

「奈良県緊急防災大綱」(平成31年4月策定)に沿って、「災害対応力が最も進んだ奈良県」を目指しています。

○「奈良県緊急防災大綱」に沿って、令和2年3月に「奈良県地域防災計画」を改定

○避難行動、避難生活

- ・住民の正しい避難行動の周知
→「自らの命は自らが守る」住民主体の避難行動の実現
→地域の災害リスクの周知を徹底
- ・被災者の健康維持ができる環境づくり
→誰もが安心して健康に過ごせる避難所環境を維持

○防災拠点

- ・大規模災害時に災害対応の中心となる拠点の確保
→大規模広域防災拠点の整備を推進

○ハード対策

- ・「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」を活用した計画的・重点的な防災対策の推進



避難行動力向上訓練の様子(桜井市志保)

もっと良くするために

ハード面の取組として、公共事業により河川の改修、平成緊急内水対策事業、直轄河川事業、砂防施設の整備、ため池の管理と整備を行います。
(15,151百万円、R元・2月補正 3,437百万円)



農業用ため池の整備



奈良県防災総合訓練の様子

ソフト面の取組として、河川情報基盤の整備(247百万円、R元・2月補正 216百万円)、土砂災害への防災・減災(37百万円、R元・2月補正 16百万円)、防災行政通信ネットワークの運用(170百万円)、建築物の耐震化の促進(17百万円)、地域防災力向上のための訓練・研修(7百万円)を行います。

- ・河川情報をリアルタイムに把握し、市町村や住民に提供する河川情報基盤を整備
- ・災害情報を迅速かつ円滑に関係者が情報共有するシステムを運営

令和2年度予算案 15,629百万円[債務負担行為 2,232百万円]
令和元年度2月補正予算案 3,669百万円

R2予算案 15,629,496千円 [債務負担行為 2,232,335千円] R元・2月補正予算案 3,668,609千円

○安心して暮らせるハード面の取組

① 河川の改修等

台風や集中豪雨等による浸水被害を軽減し災害を防止するための河川改修等
(R2予算案 6,279,821千円、
R元・2月補正予算案 2,086,350千円)

② 奈良県平成緊急内水対策

県と市町村が連携し、内水による床上・床下浸水被害を解消するための貯留施設の整備
(197,900千円)

③ 直轄河川事業

国の直轄区間にかかる一級河川改修、大規模土砂災害対策、遊水地の整備等
(R2予算案 2,468,120千円、
R元・2月補正予算案 321,000千円)

農業用ため池の整備



砂防設備の設置



④ 砂防施設の整備

土石流等による被害から人家等を保全するための砂防設備等の設置
(R2予算案 5,255,472千円、
R元・2月補正予算案 472,500千円)

⑤ ため池の管理と整備

防災上対策が必要なため池について、耐震調査や老朽ため池の改修整備
(R2予算案 949,375千円、
R元・2月補正予算案 556,709千円)

○災害発生時の対応を強化するソフト面の取組

⑥ 河川情報基盤の整備

河川情報をリアルタイムに把握し、市町村や住民に情報提供
(R2予算案 246,750千円、
R元・2月補正予算案 216,300千円)

⑦ 土砂災害対策による防災・減災

土砂災害特別警戒区域等の指定、土砂災害・防災情報システムの改修等
(R2予算案 36,750千円、
R元・2月補正予算案 15,750千円)

⑧ 防災行政通信ネットワークの運用

県・市町村・防災関係機関(消防、メディア等)が災害情報を迅速かつ円滑に情報共有するシステムの運営
(170,386千円)

⑨ 建築物の耐震化の促進

木造住宅の耐震診断・改修等に対する補助、法に基づく「耐震改修促進計画(H28~R2)」の改定
(17,343千円)

⑩ 地域防災力の向上

国・県・市町村・住民等と連携した訓練や、地域住民を対象とした研修会、避難訓練の手引きの周知・啓発等
(7,579千円)

奈良県防災総合訓練の様子



<問い合わせ先>

- ①②③⑥ 県土マネジメント部河川課 牧田主幹(内線4171)、④⑦ 砂防・災害対策課 植谷主幹(内線4192)
- ⑤ 農林部農村振興課 長谷川主幹(内線3909)、⑧⑩ 知事公室防災統括室 中野主幹(内線2272)
- ⑨ 県土マネジメント部まちづくり推進局建築安全推進課 堅田課長補佐(内線4395)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 6 「安全安心な地域」づくり

(41) 災害時の避難所整備と運営の改善

これまでは

本県では、市町村に対して独自の避難運営マニュアル策定を働きかけ、被災者の健康維持ができる避難所環境づくりを推進してきました。

○避難所での良好な生活環境等の確保、避難所の安定的な運営維持のため、設備の充実や物資・資機材の備蓄を行う(県と民間事業者31社と協定締結)。

○避難所運営に関して、避難所の現場で活動された女性の意見を取り入れ、県において平成31年3月に「女性視点の防災ハンドブック」を作成

○県の災害派遣福祉チーム「奈良DWAT」が令和元年11月に発足

○市町村の避難所運営マニュアルは、令和元年12月末までに、県内25市町村で策定されています。



もっと良くするために

避難所における生活環境の整備(122百万円)

○(新)防災備蓄倉庫、簡易トイレの整備



備蓄用コンテナ



簡易トイレ

○県立学校避難所のWi-Fi環境整備
○県立学校避難所の洋式トイレの整備

奈良県災害福祉支援ネットワークの構築(1百万円)と(新)災害時要配慮者支援事業(1百万円)

・DWAT(災害派遣福祉チーム)への研修・訓練の実施
・市町村が行う避難行動要支援者に対する個別計画作成等への支援を実施

令和2年度予算案 124百万円

R2予算案 123,827千円

避難所における生活環境の整備(122,097千円)

①(新)防災備蓄倉庫、簡易トイレの整備(17,705千円)

大規模災害時における住民の生命・健康を守るとともに、避難所の安定的な運営を維持するため、**避難所環境整備としての物資や資機材の備蓄**を推進

- ・南海トラフ巨大地震における上水道の支障率は70%と想定されていることを踏まえ、新たに、**簡易トイレを備蓄**
- ・道路アクセス等を考慮し、広域防災拠点もしくは物資拠点となり得る施設に**分散備蓄を進めるため、コンテナを設置**



備蓄用コンテナ



簡易トイレ

② 県立学校避難所のWi-Fi環境整備(14,582千円)

市町村の避難所に指定されている県立高等学校、特別支援学校の屋内運動場について、**避難者への情報伝達**
・**収集の手段の提供のため、Wi-Fi環境を整備**

③ 県立学校避難所施設衛生設備の整備(89,810千円)

市町村の避難所に指定されている県立高等学校、特別支援学校の屋内運動場等の**トイレ**について、**洋式化等、身体障害者等の利用に対応**するため、改修・新設工事を実施

④ 奈良県災害福祉支援ネットワークの構築(1,600千円)

災害時における福祉分野の官民協働によるネットワーク会議や、**令和元年11月に発足したDWAT(災害福祉支援チーム)チーム員に対する研修・訓練**を実施

⑤(新)災害時要配慮者への支援(130千円)

市町村が行う**避難行動要支援者に対する個別計画の作成及び福祉避難所の指定**について、実態調査を行い、地域の実情に応じた支援を実施

<問い合わせ先>

- ① 知事公室防災統括室 北畑課長補佐(内線2302)
- ②③ 教育委員会事務局学校支援課 土井課長補佐(内線5281)
- ④ 福祉医療部企画管理室 小池課長補佐(内線2952)
- ⑤ 地域福祉課 下市課長補佐(内線2812)

Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり

(42) なら四季彩の庭づくりの推進

これまで

理念
～奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ庭づくり～

作庭方針
○調和のとれた「一つの庭づくり」
…小庭(エリア)を整えつつ、全体調和に配慮
○地域の景観資産を生かした庭づくり
…水辺、田園、森林・山岳、歴史文化遺産等
○四季折々の彩りの庭づくり
…四季を感じさせる植物種の選択等
○人が楽しむ庭づくり
…見る、くつろぐ、歩く、感じる、遊ぶ、体を動かす等
○庭づくりを続けるために
…様々な主体による連携・協働

小庭(エリア)整備計画
○県内の主要な名所やその周辺等で「小庭(エリア)」を選定(現在60箇所)
○全小庭(エリア)で「整備方針図」を作成
○具体化が進むと作庭処方図を作成(現在22箇所)

もっと良くするために

「(仮称)なら四季彩の庭づくり条例」を令和2年に制定し、四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させる植栽計画を推進します。

- 条例の推進のため、有識者会議の運営、エリア別WGの設置、(新)好事例集の作成、(新)庭づくりアドバイザーの派遣を行う(8百万円)
- シンボルマークプレート設置、ジャーナル発行(5百万円)
- エリア責任者(庭師)による、河川、道路、公園、施設等場所特性に応じた植栽事業の推進(755百万円)
- 市町村が行う植栽・里山整備・地元自治会が行う植栽・除草・清掃活動の支援(31百万円)

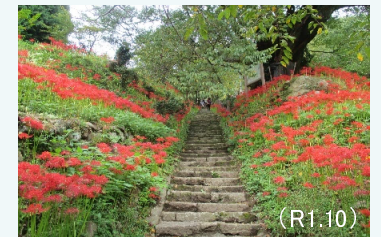


令和2年度予算案 797百万円

R2予算案 796,692千円

○四季を通じて彩り豊かな植栽景観を向上させるための植栽計画の推進

- (1)「なら四季彩の庭」づくり条例の推進(6,267千円)
 - ・有識者会議の運営(事業推進、条例化の検討)
 - ・エリア別ワーキングの設置・運営
 - ・新規エリア等の検討・計画、整備方針図等の作成
 - ・**新 好事例集等の作成**
 - ・**新「なら四季彩の庭」づくりアドバイザー(専門家、実務経験者)の派遣**
- (2)「なら四季彩の庭」づくりの普及啓発(4,821千円)
 - ・シンボルマークを使用したプレート設置、ジャーナル発行等
- (3)エリア責任課長(庭師)による事業推進(754,703千円)
- (4)市町村・地元自治会等への支援(30,901千円)



佛隆寺(室生エリア)

エリア責任課長(庭師)による事業推進

- (河川) 河川沿いにおける花壇等整備・除草
- (道路) 大宮通りにおける植栽・花壇整備
主要道路沿道等での植栽・花壇整備
景観眺望を阻害している樹木の剪定・伐採
- (公園) チューリップ等によるパノラマ景観の創出
花と親しむイベントの開催(馬見丘陵公園)
- (施設) 野外活動センターにおける植栽整備
歴史的風土の保存

市町村・地元自治会等への支援

(市町村への支援)

市町村が行う植栽整備及び里山整備を支援

(地元自治会等への支援)

河川及び道路において地元自治会等が行う植栽・除草・清掃活動を支援

<問い合わせ先>

景観・環境局

環境政策課 芳川課長補佐(内線3372)

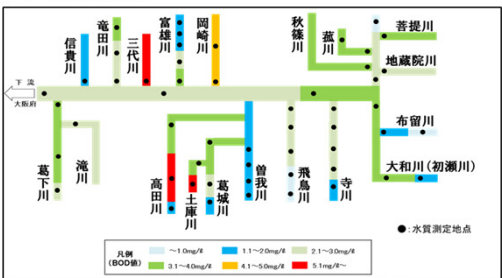
Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 7 「きれいな奈良県」づくり

(43) 大和川のきれい化

これまでは

市町村と連携し、地域住民等の主体的な参加・協力を得ながら、大和川の水質改善、きれいな水辺空間づくりを進めてきています。

○大和川の水質は、下水道の整備等により改善傾向(BOD値①94.7mg/L→③02.2mg/L)にあるものの、他府県の河川に比べて低位にあります。また、河川にゴミが散乱し、水辺景観を損なっているところもあります。



大和川水質マップ(平成30年度)

もっと良くするために

地域の人々と協働して、奈良県の中心部を流れる母なる川「大和川」できれいに暮らす奈良県スタイルを推進します。

○「きれいに暮らす奈良県スタイル推進協議会」の運営、「きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル」の発行(年4回)を通じて「きれいに暮らす」を実践します(4百万円)

○市町村境界で水質測定を実施し測定結果をマップにして公表(10百万円)

○合併処理浄化槽設置補助を実施する市町村に対し助成(38百万円)

○県管理河川において、地元自治会等が行う花の植栽活動、除草、清掃等の活動を支援(12百万円)

○河川敷地の不法占用、不法投棄等の排除・撤去を行い、原状回復を図るとともに未然防止及び再発防止のための諸対策を実施(29百万円)



きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル

令和2年度予算案 93百万円

R2予算案 92,711千円

① きれいに暮らす奈良県スタイルの推進(4,235千円)

- 「きれいな奈良県」の実現に向け、多様な主体の連携・協働による実践活動を誘発・促進
 - ・「きれいに暮らす奈良県スタイル」推進協議会の運営
 - ・実践活動団体のネットワーク化を促進
 - ・きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナルの発行(年4回)
 - ・大和川重点対策支川流域の浄化槽設置世帯に対し、汚濁負荷軽減のための啓発等を実施 等

② 大和川の水質改善(9,287千円)

- 効果的な河川水質の改善対策を推進するため、市町村境界で水質測定を実施し、測定結果をマップにして公表
- 導水水量確保により河川環境を改善

③ 浄化槽設置整備の推進(38,000千円)

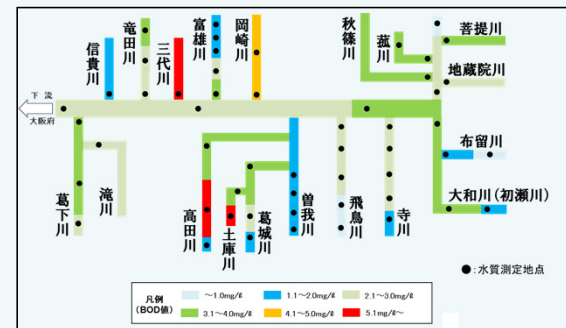
- 合併処理浄化槽設置者に対する補助事業を実施する市町村に対し支援

④ 地域の河川サポートの推進(12,000千円)

- 県管理河川において、地元自治会等が行う花の植栽や除草、清掃等の活動を支援

⑤ 河川の美化対策(29,189千円)

- 河川敷地の不法占用、不法投棄等の排除・撤去を行い、原状回復を図るとともに、未然防止及び再発防止のための諸対策を実施



大和川水質マップ(平成30年度)

<問い合わせ先>

- ①②③ 景観・環境局 環境政策課 芳川課長補佐(内線3372)、佐羽課長補佐(内線3391)
- ②④⑤ 県土マネジメント部 河川課 往西主幹(内線4173)